

円居

令和6年2月29日(木)
備前市立備前中学校
校長 藤森 卓麻
0869-64-3365

生徒会の挑戦

「ひとてまプロジェクト」

三学期当初から2月上旬にかけて、生活委員会主催の「ひとてまプロジェクト」が行われました。目的は次の四つ。

- ① 日々の自分を振り返る機会をもつこと
- ② 「ひとてま」に取り組もうとすること
- ③ 心や時間に余裕をもつこと
- ④ 誰かを助けられる自分になること

取組内容は、どんなことでもいいから、面倒だけ少し頑張ればできる、そんな「ひとてま」を見つけて取り組むこと。実際に生徒たちが取り組んだ「ひとてま」は次のようなものでした。

机・椅子の整頓、換気、姿勢を正す、雑巾を丁寧にかける、靴をそろえる、プリントの整理、字を丁寧に書く、消しカス・ゴミを拾って捨てる、挨拶、英語の授業での辞書運び、服装を正す、タブレットの充電(忘れていた人も)、授業前の準備、靴のかかとをこまめに帰つてすぐかばんや服を片付ける、先に宿題をする、部屋の整理整頓、服をハンガーにかける、
お店で片付けやすいように食器をまとめる、洗濯を家の中に入れる・たたむ、
「後でしよう」を「今しよう」にする

取り組んだ生徒たちの感想の一部です。気分が晴れる、達成感があった、落ち着いて授業が受けられる、

過「しやすくなった、困ることが減った、

気持ちよく一日を始められた、

グダグダする時間が減った、

時間に余裕ができた、頑張ろうと思えた、

人のためになると嬉しい、自信がついた、

感謝されてうれしい、自分磨きができた、

自己肯定感が上がった、

少しだけでも変わるんだと思った、

これからも続けたい

今年度 生徒たちは(*)きまりについて

考えてきました。それはどちらかといえ

「しなくてはいけない」「してはいけない」

ことについて考えることでした。しかし、

実際に多くの人と一緒に生活していく中で

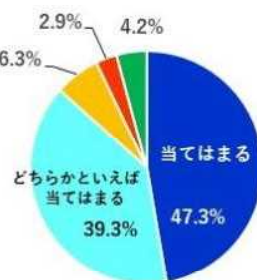
は、決められたこと以外に「した方がいい」

こともあります。「手間」、つまり自分の労

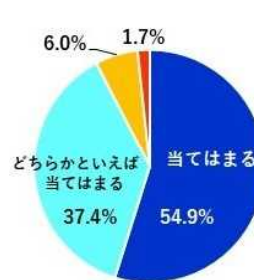
「協力ありがとうございます」

学校評価アンケート

備前中学校に通わせていることに満足している(保護者アンケート)



備前中学校で学校生活を送っていることに満足している(生徒アンケート)



保護者の皆様及び全校生徒対象に学校評価アンケートを行いました。「備前中に通

わせていること・学校生活を送っているこ

と」に対して「満足している」という回答が

約47%(保護者)、55%(生徒)、「どちらか

といえは」を含めると肯定的な回答が86

%、92%という結果でした。項目ごとに見

てみると保護者の皆様には、学校行事等の

体験活動や、各通信やホームページでの発

信などの項目において高い評価をいただきました。子どもたちについては、学校行事、

を向ける必要があります。貴重なご意見を励ましのお言葉もたくさんいただきました。一方で、厳しいご指摘もありました。その言葉の背景にあるものを、想像力を働かせて読み取ることが、備前中学校のため、子どもたちのために大切だと考えます。いくつかのご指摘の中から教職員の指導(生活・教科)に関することについて回答させていただきます。やや抽象的になりますが、どうかご了承ください。

■学校生活内での指導において、目の前の子どもへの対応は個々に応じたものになることはありますが、学校あるいは学年として、指導そのものに一貫性を持たせることはこれからも機会を設けて確認をしていきます。また、日常的な職務を通してお互い高め合っている教職員集団であると自負しておりますが、人権感覚を常に磨いていくこと、教科指導(授業及び家庭学習)に関するスキルアップをより図られるような環境を引き続き整えることが校長の責務と考えます。部活動の数、活動時間は以前に比べて減ってきていることは確かですが、生徒・教員数の減少や、超過勤務に対する行政(国・県・市)からの指導もある中で、このことをご理解いただけるとありがたいです。ただ、地域移行等、受け皿の確保が未だ不透明な中、活動の目的や具体的方策にあらためて目を向けるなど、限られた時間の中で精一杯の活動をしていきたいと考えます。



↑ 学校評価結果をご覧ください
↑ 学校の結果をご覧ください

